

## 2-7. 今年度の成果と今後の課題

令和2年度調査で挙げられていた課題と方向性について、本調査における成果と今後の課題を以下に再整理する。

| 項目（令和2年度調査） |            |     | 令和2年度調査で挙げられていた課題・方向性                                                        | 令和3年度 of 取組み方針                                                                                                         | 本調査における成果                                                                                                                                  | 今後の課題                                                                                                                     |
|-------------|------------|-----|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地権者に係る事項    | 若手の会       | 定例会 | ・既存会員の掘り起しを行い、定例会の参加人数を増やすと共に、次世代に繋いでいくための取組みを継続して検討を進めていく必要がある              | ・会員掘り起しとあわせ、組織強化を目指して会員の人材育成を行う<br>・継続参加が難しいメンバーに対しても検討内容や検討状況が分かるように、情報の共有化を図る                                        | ・新規会員が3名参加するようになり、比較的高い参加率であった<br>・継続して定期的にニュースレターを発行し、継続参加が難しいメンバーにも情報共有化を図ることができた                                                        | ・引き続き、新規、既存を問わず会員の掘り起しを行い、定例会の参加人数を増やすと共に、次世代に繋いでいくための取組みを継続して検討を進めていく必要がある                                               |
|             |            |     | ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて直接的な連携や活動は行わなかったが、今後も引き続き地主会との連携を強化して意向醸成活動を進めていく必要がある | —                                                                                                                      | ・今年度は地権者意見交換会を開催しなかったため、地主会と若手の会の直接的な連携はなかった                                                                                               | ・引き続き地主会との連携を強化して意向醸成活動を進めていく必要がある                                                                                        |
|             |            |     | ・地権者の意向等を反映した跡地利用計画となるように、今後も引き続き会としての考えを取りまとめて発信していく必要がある                   | ・有識者検討会議に対して、若手の会としての考えを取りまとめ発信する                                                                                      | ・若手の会の考える「都市基盤整備の方針」について、会としての考えを取りまとめる事ができた                                                                                               | ・今後も引き続き会としての考えを取りまとめて発信し続け、地権者の意向を跡地利用計画に反映させていく必要がある                                                                    |
|             |            | —   | ・更なる有効なパンフレット活用手段を検討し、若手の会の活動内容周知に繋げていく必要がある                                 | —                                                                                                                      | ・新規会員に対して、昨年度作成したパンフレットを配布し、若手の会の最新検討内容を周知した                                                                                               | —                                                                                                                         |
|             | 一般地権者      | —   | —                                                                            | ・現時点における地主会未加入者も含めた地権者の大まかな土地活用意向を把握する                                                                                 | ・地権者の土地活用意向を把握するにあたって、web フォームによる回答の受付を並行して行い、162 件の web 回答が得られ、意向の把握のしやすさという面において一定の効果が得られた。<br>・全体で、1,033 件（回収率 27.8%）の地権者意向を把握することができた。 | ・地権者の意向を十分に把握した跡地利用計画の実現を目指していくために、今後も定期的に土地活用意向調査を実施して、より多くの地権者意向を把握する必要がある                                              |
| 市民に係る事項     | NBミーティング   | 定例会 | ・定例会やまち歩きに参加する会員が固定化されているため、更なる参加者を増やすための取組みを検討する必要がある                       | ・検討と取りまとめに要する情報収集、意見集約の機会を支援する<br>・定例会への参加者の増加や組織強化を図るため、対外的な活動を通してまちづくりに関する活動の輪を広げる<br>・市民に対し、跡地利用への興味関心を高めるため情報発信を行う | ・跡地利用計画の内容と周辺地域への影響について議論を行った<br>・学生や若い世代の考え方について定例会の場で伺う機会を設けることができた                                                                      | ・今後の定例会のあり方について検討する必要がある<br>・市民や市内各種組織等に対して、普天間飛行場跡地利用計画の状況など情報提供を行う必要がある<br>・今後も地域と継続した連携を図り、跡地利用計画に反映すべき点を取りまとめていく必要がある |
| 地権者・市民に係る事項 | まちづくり講座の開催 |     | ・講座の周知方法については改めて検討し、より多くの地権者、市民に講座を視聴してもらうように工夫する必要がある                       | ・市民、地権者、若手の会及び NB ミーティングに対して普天間飛行場跡地利用について学習する機会を提供し、まちづくり人材育成に繋げるためにまちづくり座談会を実施する                                     | ・「エリア価値を高めるまちづくり」をテーマとしたまちづくり座談会をオンラインで3回実施した<br>・配信動画閲覧数は、3回合わせて930回の視聴回数であった                                                             | ・新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みてオンラインでの配信のみとしたために参加者が限定的であったが、今後はオンラインと会場参加での併用型の開催とし、より多くの地権者、市民に参加頂くよう工夫する必要がある                   |

| 項目（令和２年度調査） |            | 令和２年度調査で挙げられていた課題・方向性                                   | 令和３年度の実施方針                                                                  | 本調査における成果                                          | 今後の課題                                                   |
|-------------|------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 情報発信        | ふるさとの発行    | ・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの地権者に見ていただけるようにする必要がある | ・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する<br>・中間取りまとめ以降の検討内容に関する情報提供と知識の習得、跡地利用計画に対する興味・関心を促す | ・跡地利用に関する行政・若手の会の取り組み、地権者の意見を分かりやすく発信する事ができた       | ・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの地権者に見ていただけるようにする必要がある |
|             | まち未来だよりの発行 | ・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの市民に見ていただけるようにする必要がある  | ・適切な時期に、分かりやすさを重視して発行する                                                     | ・跡地利用に関する行政の取り組みを分かりやすく発信する事ができた                   | ・紙面の見やすさ、分かりやすさについて更なる工夫を凝らし、より多くの地権者に見ていただけるようにする必要がある |
| 検証          | 懇話会の開催     | ・合意形成活動に係る継続した議論を実施していく必要がある                            | ・合意形成活動の実施に関する提言・助言などをいただき、若手の会、NBミーティング両組織にフィードバックさせることで、着実な合意形成活動に繋げていく   | ・次年度の実施の方向性や考え方について意見を伺い、若手の会及びNBミーティングにフィードバックできた | ・今後も継続して意見聴取を実施し、意向醸成活動の方向性や手法等に関する検討を進めていく必要がある        |